

# 日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区  
株式会社ヒヨシダイ

編集責任者  
野々口 義信

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書



学区ホームページ

## 6年度予算編成方針案を発表

### 事業費圧縮 助成金削減 緊縮予算案提示

#### 会員減歯止めかからず収入減

令和6年度日吉台学区自治連合会予算編成方針案がまとまり、2月17日の自治連合会役員会で了承された。編成方針案では、収入の柱となる各自治会からの分担金が自治会員の減少で

ウンしていることから、単年度で収支均衡を図るため、対前年比で事業費、事務的経費の圧縮に加え、各種団体への助成金削減にも手を付けることとしている。

まず、現時点で令和5年度の収支予測を行ったところ、コロナ禍を脱した事業費の回復や、活動団体数増加による助成金の増加などによって、前年度からの繰越金を除く

単年度の収支では10万円を超える支出超過となることが判明した。次に令和6年度を見通すと、収入の部の柱である自治会分担金については、2月時点の集計で、

自治会員数1101世帯、220万2000円の収入見込みとなり、10年前の平成26年の1174世帯、234万8000円からは、平均すると毎年約0.5%ずつの減少が

続いていることが明らかになった。支出の部では、自治連が1月27日に実施した学区内各種団体に対する要

## 地域功労者決まる

### 令和6年度

日吉台学区内で、福祉・文化・体育・防犯・防災・環境・青少年育成等の活動で地域振興

4月21日開催される学区自治連合会令和6年度総会の席上、表彰式が行われる。表彰者のみなさんは次の通り。(敬称略)

▽中野 義勝(三丁目東自治会) 自治会活動  
地域交流活動

通算7年自治会長を歴任し、自治会活性化、集会所の利活用を推進すると同時に、コスモスクラブ会長としての地域高齢者の見守り、自治連教育

令和6年度日吉台学区地域功労者が2月17日開いた学区自治連合会定例役員会で決まった。自治連合会表彰規定に基づき、学区自治連合会が各自治会、学区内

▽山本 由美(四丁目東自治会) 地域貢献全般  
スポーツ少年団事務局長として子どもたちの健全育成や次世代リーダー育成に尽力し、また日吉台自治会夢・未来事業推進委員、運動会や日吉台まつり実行委などを通して幅広い地域活動に指導的役割を果たした。

▽浅山 鞠子(社会福祉協議会) 社会福祉  
社会福祉協議会の運営委員として、またふれあい給食部副部長としてふれあい給食事業の発展に尽力、多くの受給者に喜ばれている。

▽砂川 百合子(自主防犯推進会、一丁目南自治会) 防犯  
地域の子どもたちの安心・安全のために、スクールガードとして登下校見守りを実施、また子ども安全リーダーとして、防犯教室を通して日吉台を含む湖西地区の多くの子どもたちの育成に尽力された。

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書

学区ホームページ

増額要求が出されたが、これらの増額要求に応え、かつ本年度並みの事業費や事務費支出を行うと、赤字幅が本年度以上に拡大することは明白であり、自治連執行部では持続可能な予算編成とするため、自治連事業費、事務費の圧縮に加え、「増額要求を求める団体があったが助成費の削減に踏み込まざるを得ない」と判断したようだ。

削減内訳の概略を見てみると日吉台まつりや学区民大運動会など事業費で5〜10%カット、事務費で対前年度予算比3万円減、旅費交通費で1万円減。各種団体助成費では、概ね助成額20万円以上の団体は対前年予算費1万円減、4万円以上の団体は5000円減とした。自治連執行部は、これらの減額措置をしたとしても予算上は若干赤字になるとしているが、当面はコロナ禍で積みあがった繰越金から補填するなどして状況判断したいとしている。

## 運行数、大幅減便半分位に

### 江若バス、春のダイヤ改正

#### 日吉台線

江若交通(本社・大津市)は2月22日、路線バスの春のダイヤ改正(3月16日実施)を発表した。発表によると、学区を走る日吉台線では、平日の始発便の繰り下げ、最終便の繰り上げほか、運行本数を大幅に減便するダイヤとなっており、会社では「自動車運転手の労働時間を改善させる2024年問題に加え、バス運転手不足が深刻化、運

行本数の削減を中心として減便をやむを得ず実施した」と説明している。改正によると平日ダイヤで、日吉台四丁目6時4分発、比叡山坂本駅着の始発を廃止。最終便は21時20分比叡山坂本駅発と21時47分発日吉台市民センター行きを廃止。この結果、始発便は比叡山坂本駅6時26分発に繰り下げられ、最終便は同駅21時2分発に繰り上げとなっ

た。運行本数も西教寺循環を含めトータルで計23本減便され、概ね1時間で2便の運行ダイヤとなった。特に帰宅時間帯の削減数が多く帰宅時の足に大きな影響がでそうだ。また、西教寺循環線は平日ダイヤではこれまで10便運行されていたが7便削減、1日の運行はたった3便となってしまう。

土曜、休日ダイヤでは、数分程度の発着時間の変更はあるが、減便などなく現行どおりの便を維持している。

**下り坂走行注意**

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

**制限速度を守り 終端付近では最徐行**



塩尻 哲平 君

### 塩尻君、サッカーU-16日本代表選手に

## トルコ遠征に出発

日吉中学校3年生で日吉台在住の塩尻哲平君が、日本サッカー協会(JFA)のU-16日本代表選手のメンバーに選出され、2月24日から3月5日までトルコ遠征に出発する。日本サッカー協会(JFA)は、2月16日、U-16トルコ遠征日本代表メンバー20人、トレーニングパートナー3人を発表した。この

代表メンバーにセレッソ大阪西U-15に所属する塩尻君が選出され、朗報が地元にも伝わった。代表選手一行は、24日に日本代表トレーニングを行ったあとトルコに向けて出発、26日に現地ですべイン代表、3月1日にデンマーク代表、4日にフランス代表と親善試合を行うことになっている。塩尻君のポジションはFWで背番号は10。エースナンバーを背負い親善試合に臨むことになった。

歩道のある道では必ず歩道を歩きましょう

夜の歩行時は明るい色の服・反射材を

# 日吉中コミュニティスクール総会

## 学校の現状、活動など報告



日吉中コミュニティスクールで行なわれるパネルディスカッション

日吉中学校コミュニティスクール総会が2月17日、こと「日吉中」をテーマにパネルディスカッションがあり、参加者が日吉中へへの

### 日吉中生に期待することでパネルディスカッション

期待像等について討論を行なった。総会では、同中教諭らによる学校全体の様子や学校評価の結果分析など学校の現状と取り組みについての報告が始まり、地域学校協働活動推進委員の竹下ゆかりさんから、同中が行う学校運営協議会(コミュニティスクール)のこれまでの取り組みと今後の活動方針について説明があった。パネルディスカッションは、野々口義信日吉台学区自治連合会長、鳥井義徳下阪本青少年育成学区民会議会長、岡本幸一郎下阪本小学校長、岸本光香下阪本幼稚園長、田畑

## 春の日吉台コンサート4月14日開催

### 津軽三味線など和楽器の競演

文化の香り高いまちづくりを旨として、日吉台学区まちづくりカンパニー(濱崎博会長)が実行委を組織して行う「第8回日吉台コンサート」和楽器の競演が4月14日午後2時、日吉台市民センター大会議室で開催される。和楽器の競演と名付けられる春のコンサートに出演する演奏者は、津軽三味線、中村卓也さん、中村知世さん、和太鼓、柴田未来さんの3人。中村卓也さんは、姫路市出身。三味線、和太鼓を祖父、中村泰三さんから平成29年からは津軽三味線を三絃小田島流二代目小田島徳旺師に師事し。本来の民謡をはじめ古典芸能の神髄を追究、幅広い世代に三味線の魅力を伝える若き津軽三味線奏者。中村知世さんも姫路市出身。平成7年沢井箏曲院講師免許を取得し野村

流三線を饒波正宏師に、美鵬流民謡鳴り物を美鵬直三朗師にそれぞれ師事。平成11年ウクライナで開催された「日本・ウクライナ芸術文化祭」、平成13年にはイタリアで開かれた「日本・オルトナ国際交流音楽祭」に参加、箏、三線を用いてライブコンサートに活動中。柴田さんは、和太鼓奏者として東京国立劇場、兵庫県立文化センターなどの国内公演ほか北歐エ

ストニア、オーストラリア、台湾、香港など海外公演にも出演。国内外で教室やワークショップを多数開催し、20年にわたる地域の子どもたちへの指導や聴覚特別支援学校で和太鼓講師を務める。和楽器の競演の演奏曲は「津軽じよんがら節」「春の海」「民謡メドレー」ほか。入場料は500円。入場券販売は市民センターホール(4月1日、12日、10時、12時、土、日は除く)、喫茶「ひよし」(3月16日、4月7日、10時、16時、木曜休み)問い合わせは岡田さん(090-7359-1281)。

日吉台小学校舎南側敷地の一角に、みんなが集う「日吉台ほっとステイション」が完成した。同小が実施する夢プロジェクト事業の第3弾。今年度の夢プロジェクトを実施するにあたり同小児童会が全校児童から「みんなの夢」を募集。各学年から持ち寄ったアイデアを児童会がまとめ「ほっとステイション」の設置となった。

「ほっとステイション」は縦3m、横4mのコンクリート製。全校児童が一人一枚、花や動物、自画像、メッセージなど思い思いがデザインして作りあげた10枚四方のタイルを周囲に張り付け飾りつけてある。ここに昨年度の夢プロジェクトで製作した木製ベンチ、テーブル、椅子などを置き、楽しい語らいの場づくりに利用する。(完成した日吉台小ほっとステイション)

困ります!そのオシッコ!! マナーを守りましょう! 犬のトイレは適切な場所で! 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。 大津市動物愛護センター

## 日吉台小ほっとステイション完成

### みんながセンセイ、みんながセイト

## 日吉台コミュニティカレッジ開講



音楽に合わせてリズムカルにダンスをする参加者たち

このなかで、日吉中の田畑生徒会長が「不登校の生徒が気になる。クラスにもよるが5〜10%、不登校生徒がいる」と問題提起、ティスカッション後半、不登校問題や同問題についての取り組みなどについて意見が交わされた。

日吉台市民センターで陶芸活動をしている陶芸会(細谷正宏代表)の陶芸作品を集めた作品展が3月30日と31日の2日間、四丁目西自治会館で開催される。

陶芸会は、20年ほど前、レイカディア大学陶芸学

学区まちづくりカンパニー(会長、濱崎博元学区自治連合会長)主催の第2回「日吉台コミュニティカレッジ」が2月18日、日吉台市民センターで開かれた。

学区には、いろいろな知識、技術を持つ人が住む。これらの人たちが話や体験を聞き、考えた

この日は、日吉台市民センターの第1、第2、大会議室などを使って「みんながダンス」「スマホで写真教室」「折り紙講座」など6講座が開かれ学区民や子どもたち

約50人と9組が受講した。大会議室で開かれた「みんながダンス」は子どもたちがお母さんらと音楽に合わせてリズムカルにステップを踏み、心地よい汗を流していた。

科24期の山村俊雄さんが始められた同好会で、現在9人ほどが日吉台市民センターで陶芸活動に励んでいる。今回の作品展は、会員らが最近制作した作品約50点を展示する予定という。展示時間は30日午前10時から午後4時、31日午前10時から午後3時となっている。

市街灯+私街灯 玄関灯・門灯 点灯にご協力ください! 夜道も明るくて安心 泥棒に狙われにくい街づくり

市街灯+私街灯 玄関灯・門灯 点灯にご協力ください! 夜道も明るくて安心 泥棒に狙われにくい街づくり 門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推奨されています。 電気代はLED電球(40W電球相当)の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。

陶紫会陶芸展 4丁目西自治会館で